

ドコモエンジニアリング北海道株式会社殿での 蓄電池監視システム (BCW) の導入と展開

Introduction and Development of BCW (Battery Condition Watcher) at DoCoMo Engineering Hokkaido Inc.

弊社では、VRLA 電池（制御弁式鉛蓄電池）の SOH（劣化状態）を確実に計測できる蓄電池監視装置（BCW）の開発と評価をドコモエンジニアリング北海道株式会社殿と共同で実施してまいりました。（FB テクニカルニュース No.58 号(2002.11)参照）同社では、昨年度より、自社内およびドコモグループ設備での本格的な蓄電池監視システムの導入促進と合わせて、他のユーザーの皆様にも手軽に導入できるように、販売を始めています。同社のホームページには、ドコモグループの通信網を利用したバッテリー監視システムの説明が掲載されています。

<http://www.docomoeng-h.co.jp/>

尚、当 BCW システムの導入効果は、設置されて

いる全ての電池セルの電圧、内部抵抗に必要なセルの温度をリアルタイムに計測できるようになり、組電池としての全体評価を継続して分析できることから、電池更新時期を予測し、停電時でのバックアップ時間を的確に把握する事ができ、電源システムの信頼性を確保・実現するところにあります。また電池が設置している場所の環境改善を見出せることから、交換時期を延ばすことも可能となります。

こうした技術の展開から、限られた少ないエネルギーの出し入れが確実に電池に対して行われているかの状況を把握し、運転制御することが必要なソーラー無線基地局の蓄電池監視にも適応することができるようにするために、実証試験を継続しております。

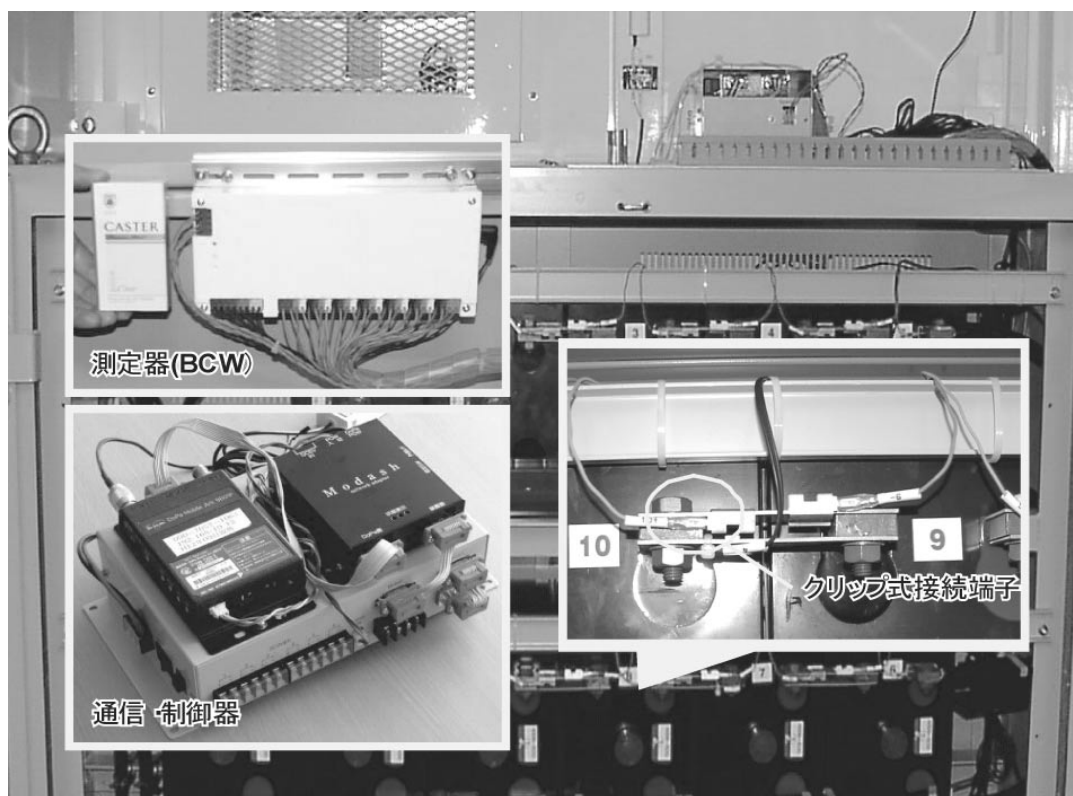


図1 BCW および通信制御機器の設置状況
画像ご提供：ドコモエンジニアリング北海道(株)殿

(産業機器営業本部 東北支店 熊谷 枝折)